



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

DIALOGUE Governor+ No.6

茨城交響楽団元コンサートマスター 林 明氏

地区大会ご参加ありがとうございました

地区大会を終えて

うつ病の話 / こころの病気の特徴

第2回ガバナー補佐・総括委員長合同会議

ロータリー学友委員長の2年目を迎えて

米山記念奨学生

日本文化体験研修 (笠間稲荷神社) 報告

ガバナー公式訪問報告 (笠間 RC)

ガバナー公式訪問報告 (水戸さくら RC)

ガバナー公式訪問報告 (大子 RC)

ガバナー公式訪問報告 (取手 RC)

ガバナー公式訪問報告 (勝田 RC)

ガバナー公式訪問報告 (つくばサンライズ RC)

ガバナー公式訪問報告 (真壁 RC)

ガバナー公式訪問報告 (常陸太田 RC)

9月会員増強報告

新会員紹介・訃報

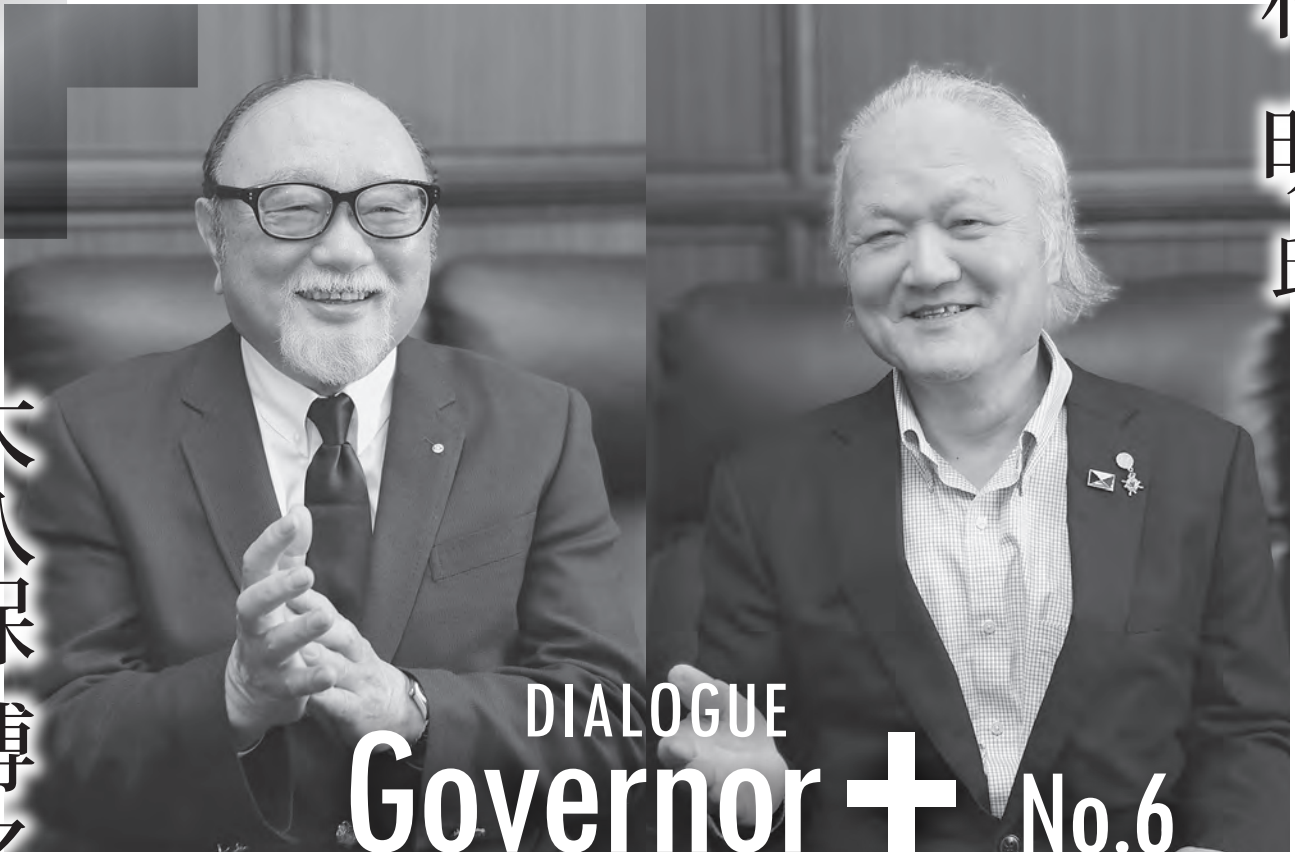
シンガポール国際大会早期登録のご案内・

2026-2027年度地区ガバナー候補者推薦のお願い

スケジュール・お知らせ・

JapanRotary ポータルサイトのご案内

コラム 私の思い・編集後記



音楽・芸術を通じてまち作りを。

＜大久保ガバナー＞ 茨城交響楽団の歴史をかつて教えてください。

＜林 元コンサートマスター＞ 創立は1960年で、奇しくも水戸西RCと同じで、創立63年になります。戸田明男先生などが中心で作りました。伊勢甚の綿引義栄さんが団長になって、私のヴァイオリンの先生の藤島弘子先生も中心になっていたの、私も小学生の時に入って弾いていました。戸田先生は指揮をやったり、中心的にやっていました。その後、水戸ジュニアオーケストラを作ろうということになって、そちらに専念するようになりました。

＜大久保＞ 今までの主な活動というのはどんなことをやってきたのですか。

＜林＞ 定期演奏会を秋と春の年2回、芸術館公演を水戸市の依頼で夏にやり、それ以外にお呼びがかかるとう演奏会に出向く。例えば、神栖で「第九」をやりたいというと、神栖へ行って「第九」をやる。10年くらい続きましたね。コロナ

で今はやっていないのですが。

＜高原幹事＞ メンバーになれる資格というか、試験があるのですか。

＜林＞ オーディションもなくて入りたければ入れます。只、本番に出られるかは別です。

＜大久保＞ 実力がないとだめ。

＜林＞ そうそう。

＜大久保＞ 以前の佐川市長が文化とまち作りと言われて、現実に芸術館を造って、ソフトの部分も芸術財団を作ってこられたわけですが、その頃の市民の意識というのはまだ追いついていなくて、その後の市長に、文化では飯は食えないと言っていた人がいました。しかし、今やスポーツ文化と芸術文化は車の両輪だと高橋市長も言っています。市民がその一端を担っているということですが、茨城交響楽団は市民楽団として茨城に唯一ですか。

＜林＞ 茨城にアマチュアオーケストラは5つあります。茨城交響楽団ができる5年前に日立

交響楽団ができました。僕は大学を出てすぐ日立交響楽団に入りました。日立のオーケストラでコンサートマスターをやっている同門の女性に誘われて、日立に行き始めたら、昔、水越善三さんというマネージャーがいて、林さんは何で日立に入っているのだ、茨響に入りなよと言われて、日立に遅れること3年してから茨響に入って、日立と茨響の両方に入っているのです。

＜大久保＞ 他はどこにあるのですか。

＜林＞ 日立、ひたちなか、茨響が水戸、土浦交響楽団、筑波学園都市オーケストラ、この5つがアマチュアオーケストラです。それ以外に田口邦生さんが創立されたイ・ソリストティ・イバラキ室内合奏団といって、ちょっとした室内楽をやっているグループがあります。

＜大久保＞ 最近はクラシックの垣根が低くなってきたような気がします、オペラも観に行くと、「惚れちゃったのよー、辛いよー」と、ストーリーも高尚ではないですね。

＜林＞ 確かに。

＜大久保＞ 時代を超えて音楽もストーリーも残ってきているから、歌舞伎と同じように、クラシック性がある、高尚な感じがするのですが、私の言っていることはどうですか。

＜林＞ そのとおりだと思います。ただ、クラシックに関して言うと、音楽を好きな人たちが増えていません。音楽教室の生徒は増えていない。それよりも子どもたちはサッカーなどに行ってしまう。今は音楽大学の危機だと言われています。上野学園という名門の音大は募集停止です。それ以外にも定員割れしている音大が多い。桐朋学園とか藝大は大丈夫ですけど。音大を出ても飯が食えない。オーケストラは定員が決まっているから、N響に入れる人は一部で、ましてや世界に活躍するプロはほんの一握りです。

＜大久保＞ それは困りますね。

＜林＞ 我々のオーケストラも、半分は音大は出たけれどというヴァイオリンの先生たちです。

＜大久保＞ それはアートの世界にも同じことがあって、アートも音楽も、人は金が集まるところに集まると思うのです。昔はロンドン、そ

の前はパリで、今はニューヨークが一番人が集まります。だから、経済的なものと連動しているのですよ。

＜林＞ それはありますよね。

＜大久保＞ 林さんは、ポップミュージックみたいなものはどう思いますか。

＜林＞ 僕はポップミュージックも大好きです。ビートルズも大好きです。だから、今でも車の中ではビートルズとかローリングストーンズをかけていますし、オペラも聴きます。

＜大久保＞ ビートルズもあと200年したら、モーツアルトみたいに音楽家として認められますよね。

＜林＞ そう思いますよ。

＜大久保＞ 1960年代の音楽はこんなふうだったのだということですよ。今までのクラシックもそういうものですか。

＜林＞ そうでしょうね。当時は世間に受け入れられなかった人が、例えば、ベルリオーズでとか、そういうのが今は立派なクラシックです。ベートーベンなんてそうですからね。

＜高原＞ ヨーロッパは特にそうですよね。王侯貴族にたまたま好かれて、支援されて。

＜林＞ みんな、お抱えですからね。ベートーベンから時代が変わったのです。自分で書きたい音楽を書くということになっていったのです。それまでは、全部、王侯貴族のリクエストで書いていたわけですよ。

＜大久保＞ それはアートも全く同じですね。T-POINTのマークをつくった佐藤可士和さんのいろいろなデザインも、100年も過ぎたら、立派なクラシックアートとして残るのではないか。今はスポンサーが企業、その前はブルジョワ、その前は王侯貴族、その前は教会ですが、音楽も教会音楽があるのではないですか。

＜林＞ それが原点ですね。

＜大久保＞ オーケストラという演奏形態は変わらないのですか。つまり、そこにエレキギターが入るとか、そういう新しい形はどうですか。

＜林＞ そういうのもありますが、どうでしょう。もう完成された形ですから、それはあまり変わ

りようがないです。我々のオーケストラでも、時折、エレキギターを入れたり、ドラムを入れたりしてやることもあります。それはジャンルの違う音楽をやるときで、映画音楽特集をやりましょうとか、ミュージカルをやりましょうとか、そういう場合ですね。

＜高原＞ 新しい水戸市民会館で茨響がやる予定はあるのですか。

＜林＞ 来年春の定期演奏会をやります。ロータリーの地区大会を市民会館でやるというから、楽しみにしています。街の真ん中でやりますから、周りの活性化にもなりますし。

＜大久保＞ そうですね。市民会館は、客席と同じぐらいバックヤードが広いのです。それで4階まで通じているのです。だから、やるにはちょうどいいと思うのです。実は私、ミュージカルが趣味で、だから、あそこに来てくれればいいと思うのですが、今まで2,000人以上の会場は茨城県にありませんから、稼げる一流アーティストは来ないので、東京まで行かなければならなかったのです。今度はちょっと期待できるかなと。

＜林＞ ミュージカルをやれば、みんな、喜んで来ますよ。

＜大久保＞ 茨城交響楽団では、青少年の育成みたいなことはやっていくのですか。

＜林＞ 音楽教室に出向いて、子どもたちを集めるというのが我々の目指す方向です。

＜大久保＞ うちの学校もこの前、やって頂きましたが、子どもたちは、「じいちゃん、来てる」って。

＜林＞ 1年生の孫が一番前にいて、「じいじ」なんてね。

＜大久保＞ この間の運動会に来ましたか。

＜林＞ 行きましたよ。暑いところを行ったんです。

＜大久保＞ テーマがあって、ちょっと普通の運動会とは違う。感性豊かな子どもに育てるにはそうした環境が必要だと思うのです。普通の学校ではできないことをやる。3～6年生は東京にもミュージカルを観に行きますので。林さん

は、今、ヴァイオリンですか。

＜林＞ 茨響ではヴァイオリン、日立と弦楽四重奏団ではヴィオラです。

＜大久保＞ 奥様も、息子さんも、息子さんのお嫁さんも、みんなヴァイオリンで、演奏一家で、すばらしいと思います。なかなかそういうのはないですよ。私、寄席を作ったのですが、今度はできれば小劇場をつくりたい。パフォーマンスとか演劇を土日に公演がかかるような文化のある街にしていきたいなと思っているのです。

＜高原＞ 瓜連のあまや座には結構マニアックな人が行っていますね。

＜大久保＞ そうですね。ロータリーで音楽の同好の士というのは県内に何人かいますか。

＜林＞ 日立RC直前会長原田実能君は日立交響楽団でティンパニーをやっていました。それから水戸南RCの石井君は日立でホルン、水戸RCの富田先生は茨響でチェロを、常陸太田RCの黒沢君は日立でクラリネットを演奏しています。

＜大久保＞ 私も小さいときにピアノを習っていたのですが、音楽には親しまないうちにすぐポップミュージック、ギターになってしまっ

＜林＞ ピアノは、結構、長い時間やっていたのですか。

＜大久保＞ いや、とんでもないです。幼稚園の子ども前で童謡を弾けるぐらいです。芸術で一番分かりやすいというか、人間が持っている根源的なものは歌とリズムだと思うのです。それから始まって、旋律楽器ができるという形で伸びてきたと思います。アートも洞窟の落書きから始まったということで、人間にはアート派と音楽派がいるような気がするのですが、林さんはどちらも好きですか。

＜林＞ どちらかというとも音楽ですね。

＜大久保＞ 高原幹事はどっちが好きですか。

＜高原＞ 私も音楽かな。ただ、クラシックなんかは善し悪しが分からない。

＜大久保＞ 私は、どちらかというともアートです。茨城県から北の県庁所在地の美術館は全部行っているし、好きなのです。だからデザイン

の学校もやっているのかもしれない。

＜高原＞ 近代美術館もあれだけの空間があるのにもったいない。もっと人に入ってもらいたい。すばらしいですね。

＜大久保＞ 茨城交響楽団も近代美術館のホールを使えばいいのですよ。これは非営利団体としてやっていらっしゃるから、商売はあまり考えていないのかもしれないけれども、欧米は非営利団体でも極めて商売は上手です。満足しながらお金を集める手法は日本はだめなのです。下品に思われてしまう。だから、逆に発展しないのかもしれない。

＜高原＞ 例えば、茨響で市民会館で運営費を稼ぐためにお金をもらってもだめですか。

＜林＞ 市民会館で演奏するのは、我々は定期演奏会としてやります。

＜高原＞ それは入場料はもらうのですか。

＜林＞ もちろん、もらいますよ。

＜高原＞ それでも大丈夫なのですか。

＜林＞ 芸術館の公演もそうだし、公演は全部入場料を取ってやっています。

＜高原＞ 市民会館は、入場料を取ると使用料が高くなるのですね。大久保ガバナーは、今回、「見て覧（ミテラン）」をつくるのですが、それも販売しようと思ったら、それはだめだと言うのです。儲けるわけではないのですけどね。

＜大久保＞ でも、市民の非営利団体が入場料を取るのはいいのではないですか。

＜林＞ それはそうですよね。我々のコンサートも、文化センターでやるとき、駐車場がいっ

ぱいになってしまう。ただ、新市民会館はバスの便もあるし、公共交通機関がありますからね。文化センターの場合はバスではなかなか行けない。

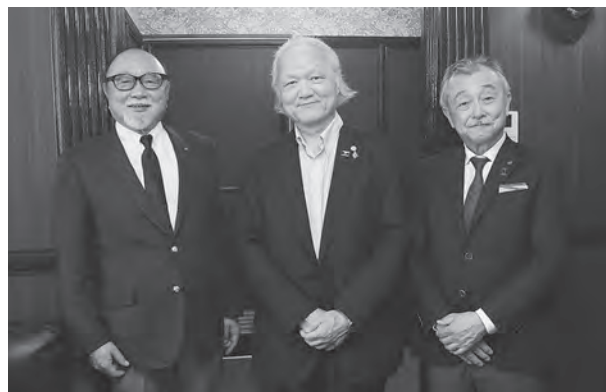
＜大久保＞ 松本でサイトウ・キネンをやっていますが、あのコンサートホールは駐車場ゼロで、コンセプトは、駅から歩いて来いと。そこに2キロの商店街があって、そこが潤っている。そういうコンセプトとして割り切っている。最後に、ロータリアンとして、地区に期待すること、あるいは、音楽的活動で何かリクエストはありますか。

＜林＞ できるだけロータリアンが茨響後援会にたくさん入って頂きたい。水戸西RCは半分ぐらい後援会に入ってもらっています。今、大久保ガバナーは後援会の副会長ですから。

＜大久保＞ 茨城交響楽団は県央にある文化的な宝ですから、もうちょっと商売上手に伸ばしていけるように協力します。

＜林＞ よろしくお願ひします。

(対談日：2023年6月)



大久保ガバナー 林 元コンサートマスター 高原幹事

PERSON

茨城交響楽団元コンサートマスター 林 明氏

茨城交響楽団副団長

日立交響楽団 ヴィオラ奏者

ズブロッカ弦楽四重奏団 ヴィオラ奏者

水戸市立五軒小学校、水戸第二中学校、水戸第一高等学校を経て一橋大学管弦楽団コンサートマスター。

1993年1月 水戸西RC入会

2008～2009 クラブ幹事

2016～2017 クラブ会長

2017～2018 RI第2820地区資金委員

2018～2019 地区会計長

2019～2020 地区資金委員



地区大会ご参加ありがとうございました

国際ロータリー第2820地区ガバナー

大久保 博 之

まずもって会員の皆様の地区大会のご参加ありがとうございました。

食事や飲み物他多々至らないところがあったことと存じますが、平にお許してください。

1月私がガバナー予定者として世界中の500人ほどの予定者とアメリカに呼ばれた折、毎日午前中の本会議の休憩やスピーチの合間の音楽はすべてABBA（アバ）でした。乗りの良い懐かしい音楽に気分も上がりましたが、残念ながらそうしてみると世界中のガバナーの平均は私より10歳くらい若いABBA世代なんだとわかりました。

そこで私は地区大会本会議では私の世代の音楽（多分私は地区の平均年齢？）と思いTHE BEATLES（ビートルズ）にしました。前代未聞の大会をやらせていただきました。

もともと地区大会は会員が集まり、RI会長代理から私たちの行く方向の示唆を戴き、確認する場です。また地区内会員の親睦と交流を図る楽しい祭りの要素もあります。水戸らしく新しくという精神でその目的が充分果たせたかは皆様のご評価によるところですが、残りの任期も変革を恐れず、ロータリーの志を追い求めていきたいと存じます。





地区大会を終えて

地区大会実行委員長

八文字 典 昭

(水戸RC)

皆様、二日間の水戸での地区大会を楽しんでいただけたでしょうか。水戸ロータリークラブ会員130余名、全員で国内外より多くのロータリー関係者をお迎えし、「楽しく意義あるロータリー活動の実現を目指し」水戸市の中心地に、この7月に開館したばかりの、水戸市民会館で開催した大会でした。

参加者の皆様のご協力により、ロータリー活動にとって、とても有意義な充実した大会になったと思います。

この大会の為、水戸ロータリークラブとして、地区大会実行委員会を立ち上げ、担当ごとに大会準備を行いました。二日間、精一杯のおもてなしを行ったつもりですが、慣れない面も多々あり、不行き届きの面もあった事と思います。その点については、ロータリーの友情でご容赦願えればと思います。

今大会は、ビートルズ世代の大久保ガバナーの強い思いで、音楽はビートルズで統一し、映像で表現出来る所は、出来るだけ最新の映像技術を活用し、進行致しました。特に、市民会館は、最新の音響設備があり、進行内容等については、好評であったと感じています。

樫畑RI会長代理には、大会中何度もご挨拶やご講演で、ロータリーについて色々な面からお話を頂きました。特に、ご講演ではロータリーについて、なかなか分からない点を簡潔に分かりやすくお話をいただき、これからのロータリー

活動をする上で、大変勉強になりました。ありがとうございました。

RI会長代理ご夫婦歓迎晩餐会は、会場をプラザホテルに移動し、多くの皆様に参加いただきました。アトラクションも全員見入ってしまい時間が足りないと感じるほどでした。出席者は、なごやかに親睦を深める事が出来たと思います。

2日目の記念講演では、お笑い芸人厚切りジェイソンの「ジェイソン流お金の増やし方」の内容で、独自のお金に対する考え方が斬新で、的を得ていて、とても聞きやすく、分かりやすい講演であったと思います。

大懇親会は、場所や人数の関係もあり、全体でのすべての懇親よりは、近いテーブル同士の懇親を中心に、深めていただけたかと思います。

以上の流れの大会でしたが、2日間の大会を通じて新たなロータリー活動へのヒントを見つけていただければ、これ以上の喜びはございません。大久保ガバナーのスローガン「まちを磨けば あなたが輝き 世界を彩る」を具現化する為にこれからもガバナーにご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

最後になりますが、水戸ロータリークラブ清水会長を始めとした水戸ロータリークラブ会員の皆様、そして、地区大会実行委員会の皆様のご支援・ご協力に感謝致しまして、地区大会を終えての感想と致します。ありがとうございました。



うつ病の話／こころの病気の特徴

高 沢 彰

(水戸RC)

今月は疾病予防月間です。メンタルヘルスに関する本コラムでは、疾病予防月間の今月から隔月で精神科の疾患についてお話をしていきたいと思います。今回はうつ病についてお話しいたします。

うつ病は抑うつ気分が主症状であることは皆様ご存じのことと思います。一生涯で大体20人に1人がかかる、といわれています。つまり、ごくありふれたこころの病気ということになります。ただし、一時的に抑うつ気分があるからうつ病というわけではなく、抑うつ(沈んだ気分)が2週間続くことが条件です。あるいは、興味／喜びの喪失と言って、今まで楽しかったことが楽しめなくなることも重要な症状です。この二つの症状が同時にあると、うつ病の可能性が更に高くなります。皆様の中にはそのような症状をお持ちの方はいらっしゃると思いますが、周囲に、あるいは会社にはいらっしゃるかもしれません。

さて、皆様は自分のこころの状態を把握できる自信がおありでしょうか。自分の気持ちはしっかり把握している、とお考えの方も多いかと思いますが、実際は、自分のこころの有り様を正確に把握するのは難しいことです。自分のこころ自体が、自分の心の状態(気持ち)を評価するわけですから、部分的には可能かもしれませんが、全体像をバランスよく見つめるのは至難の業です。精神医学、心理学、そして最近の神経科学の知見によると、ほぼ不可能と言えます。

むしろ傍で見ている人の方が、あなたの気分の好・不調や不安・緊張の度合いなどをきちんと分かってしまいます。つまり、私たちは自分のこころの変化や変調に気づきにくいのです。分かっているつもりで、案外自分では分かっていない。これがこころの特徴と言えるでしょう。

ところで、うつ病の場合には、抑うつ気分や喜び／興味の喪失だけでなく、さまざまな体調不良がみられます。たとえば、不眠、食欲不振、易疲労感、集中力の低下、頭痛、肩こり、胃腸の不調などなどです。うつ病の方は、こころの不調に気づいていないことが多く、これらの症状に対して、身体のどこかが悪いのではないかと考えがちです。実際に、うつ病の方で最初に受診する医療機関は内科が60%以上で、精神科はわずか10%足らずとの国内の統計もあります。診察する側としても、身体的な不調の裏側に抑うつが隠れていないか、そのつもりで診察しないと、なかなかうつ病を見つけられないと言われています。

うつ病では、適切な診断の下に静養をとることと、必要に応じた薬物療法が大切です。さらに、周囲の家族や友人のサポートを得られない、孤立しがちな方がうつ病になりやすいと言われています。適切な相談や支援も大切なのです。うつ病を疑うような状態の方がいらしたら、傾聴・受容の態度で悩みや症状等を聴き、必要であれば、静養や医療機関への受診をおすすめ下さい。



第2回ガバナー補佐・総括委員長合同会議

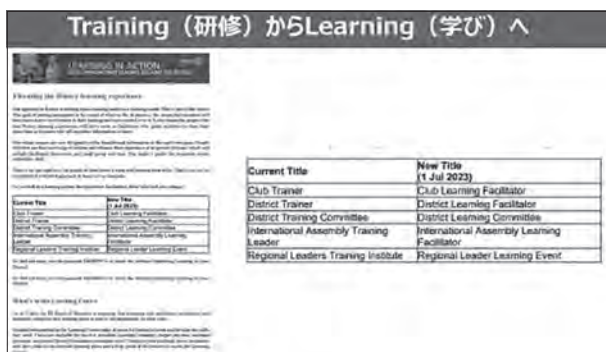
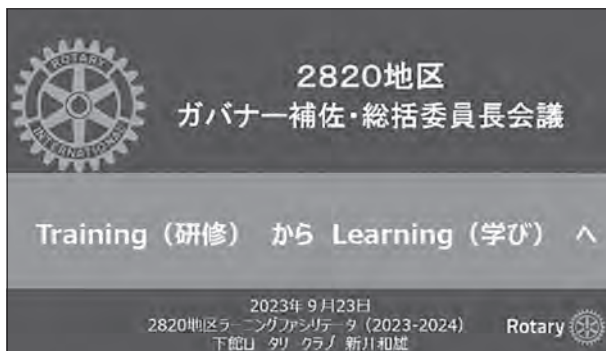
R I 第2820地区 2023-2024年度

地区幹事 **高 原 裕**

(水戸RC)

2023年9月23日(土)第2回ガバナー補佐・総括委員長合同会議がホテル テラス ザ ガーデン水戸で開催されました。

大久保博之ガバナーご挨拶の後、新井和雄地区ラーニングファシリテーターから「Training (研修) から Learning (学び) へ」というテーマでお話しをいただきました。



会議は、7月から始まった大久保博之ガバナー年度の活動について第1分区～第8分区のガバナー補佐、そして各総括委員長から報告されました。

ガバナー補佐からは

「会員数と増強目標」、「見て覧 (ミテラン)」の進行状況、「公式訪問の進捗」「ポリオイベントの計画・報告」「IM日程内容」について発表がありました。

総括委員長からは、

1. クラブ奉仕委員会 星野 幸子 総括委員長
「地区の状況：会員数・My Rotary 登録・クラブセントラル入力」
2. 奉仕プロジェクトリーグ
 - (1) 職業奉仕委員会 安 圭一 総括委員長
「メンタルヘルスの進捗状況」
 - (2) 社会奉仕委員会 關本 淳一 総括委員長
「見て覧 (ミテラン)・地区補助金事業の進捗状況」
 - (3) 国際奉仕委員会 平島 隆之 総括委員長
「この指とまれ・GGの進捗状況、友好地区からの地区大会参加など」
3. 青少年奉仕委員会 高田 稔美 総括委員長
「IAC・RYLA・RACの活動状況、青少年交換等の進捗状況」
4. ローター財団委員会 新井 和雄 総括委員長
「地区補助金・GGの進捗状況、ウクライナ支援」
5. 米山記念奨学会 木村 美枝子 総括委員長
「米山奨学事業の進捗状況」

発表のあと、①ガバナー補佐グループ (ファシリテーター大久保博之ガバナー) ②総括委員長グループ (ファシリテーター新井和雄 LFT) に分かれて意見交換を行いました。

ファシリテーターのリードで参加者の方々から色々な質問や意見が出され、情報を共有するとともに横の繋がりが出来たのではと思います。

それぞれの責任を全うしようと日々活動されているガバナー補佐、総括委員長皆様にとってグループの皆さんから様々なアドバイスがあり、大変有意義な時間であったと思います。

お忙しい中、ご参加いただいた皆様ありがとうございました。



ロータリー学友委員長の2年目を迎えて

ロータリー学友委員長

保延輝文

第2820地区のロータリー学友会は、当時の池田正純ガバナーが、当地区にもロータリー学友会を設立しようと提案され、山崎清パストガバナーをロータリー学友会の初代委員長に指名されました。当時は学友の名簿がそろわず、たいへん御苦労されたと聞き及んでおります。その様な経過をたどり、第2820地区のロータリー学友会の今日があります。

ロータリー学友会とは、ロータリー平和フェロー、国際親善奨学生、研究グループ交換（GSE）参加者、グローバル補助金と地区補助金による奨学生、職業研修チーム（VTT）メンバー、インターアクター、ローターアクター、ロータリー青少年交換学生（ROTEX）、新世代プログラム、その他のロータリープログラムに参加した経験のある人々からなる裾野の広い組織です。

そして学友会の目的は下記の通りです。

- 1 ロータリー学友の絆を育み、維持していくこと。
- 2 学友同士、又、学友とロータリアンとのネットワークを築くこと。
- 3 奉仕活動に参加する機会を学友に提案すること。
- 4 ロータリークラブ（Eクラブを含む）や、ローターアクトに学友を迎え入れることで

ロータリーの会員の増強を助長すること。等です。

この様な活動に励む中、2023年8月5・6日に、第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」がつくば市で開催されました。今大会の主催者は関東一都六県にある10地区の米山奨学会であり、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会のご協力のもとで進められました。今回の米山学友による世界大会「再会 in 関東」は34地区、海外10地区で合計44地区の全米山学友会のメンバーが参加し、日本を含む世界32カ国から1200名を超える参加者を迎え、大成功を収めました。

米山世界大会は、ロータリーが目指している世界平和を実現するための米山学友とロータリアンの集まりです。米山学友による手作りの今大会は、素晴らしい事業であったと思います。

また、10月8日に第2820地区の学友会議を行いました。委員の皆様には今年度の事業計画の提出をお願いし、学友のライラへの参加を強調させて頂きました。ライラにおいて、インターアクターに与える影響は大きく、彼らの将来への糧となる事を期待してのことです。

今後、より多くの学友とのコミュニケーションの場を作り、奉仕活動を共に参加出来るように努めて参りたいと思います。



米山記念奨学生 日本文化体験研修（笠間稲荷神社） 報告

米山寄付増進委員長 **白 岩 大 樹**
(牛久RC)

皆様には、米山記念奨学委員会活動へのご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当委員会では、奨学生の一年間の予定に「日本文化体験研修」という、参加体験型の研修を設け、奨学生に日本文化を体験してもらっています。

今年度は、10月21日（土）に、3年続けて、笠間稲荷神社において日本文化体験研修を実施しました。

奨学生は、拝殿において、学業成就の御祈禱を受けました。御祈禱中は写真の撮影を禁じられ、厳格な礼儀作法に従うことで、奨学生は日本の神事の厳粛さを体験しました。御祈禱の後、巫女舞が雅楽と共に披露され、奨学生はその独自性、芸術性などに感動しておりました。

昼食後、奨学生は着物の着付けをしました、日本古来の衣装である着物が珍しい奨学生が多く、互いに写真に撮るなどしておりました。着物を着付けた奨学生は、神社稲光閣内にある、香道御座敷や江戸千家小間を見学しました。香道御座敷は、室町幕府第8代将軍足利義政が建立した慈照寺（銀閣寺）の弄清亭（ろうせいてい）を模して造られており、そこで香を聞くことや、蘭奢待（らんじゃたい）という東大寺正倉院にある名香の説明を木村総括委員長（水戸好文RC）から受けました。江戸千家小間では、にじり口から入ることを体験してもらい、誰もが頭を下げて入る必要があり、武士は刀を置く必要があることの説明を受けました。

その後、江戸千家の茶会を体験しました。多くの奨学生にとって初めてであった茶会では、

茶のたて方を見学するとともに、茶や練り切りの味わい方などの説明を受け、茶会を楽しんでおりました。

また、奨学生は、神社周辺を散策したり、菊まつりを鑑賞したりして、日本文化を満喫しておりました。

このように、奨学生は日本の文化を体験することで、日本を知り、親しんでおります。皆様には、奨学生に体験を聞いていただくなど交流していただきたいと思っております。

末筆になりますが、本研修にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。





ガバナー公式訪問報告

幹事 永田 康弘
(笠間RC)

2023年7月13日(木)笠間稲荷神社 稲光閣におきまして、大久保博之ガバナー、高原裕地区幹事、井澤卓司ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立ちクラブ役員会懇談会では、クラブの現況報告が行われ、その後、ガバナー、地区役員の皆様からご指導をいただきました。

例会では、プロジェクターを使用し大久保ガバナーの今年度のR I会長の経歴の紹介も加えながら、R Iテーマ「世界に希望を生み出そう」の解釈やR Iのビジョンに関する深い知識を交えて、地区スローガン「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」について丁寧わかりや

すくご説明いただきました。ガバナーご自身のロータリークラブへの敬意や会員である誇りを垣間見られた気がして、改めて身が引き締まる思いをいたしました。

クラブ協議会では、それぞれの委員長から、今年度の活動方針と事業計画の説明をし、ガバナーからそれぞれの委員会の活動についてご指導を受けました。

ご多忙の中ご訪問いただいた大久保ガバナーと高原地区幹事、井澤ガバナー補佐、スタッフの皆様には心から感謝申し上げます。

今後ともご指導の程宜しくお願いいたします。





ガバナー公式訪問報告

幹事 平山 哲也
(水戸さくらRC)

8月7日月曜日、水戸京成ホテルでの公式訪問に、大久保博之ガバナー、高原裕地区幹事、増山英和地区会計長、篠崎和則地区副幹事にご来訪いただき、楽しく終えることができましたことを感謝申し上げます。

まず、当クラブでは公式訪問までに増強を掲げていましたが、7名増強の43名で大久保ガバナーをお迎えすることができました。事前協議会では大久保博之ガバナーよりお褒めの言葉をいただきありがとうございました。今年度は13名の増強を掲げており、ご指導いただきましたように例会を楽しくし、退会者数を減らす取り組みにも力を入れていく所存であります。

また、当クラブでは今年度ロータリー財団地区補助金を活用し、千波湖トイレ改修工事を行いました。奉仕活動の起源がトイレであったことに着目し、千波湖脇のトイレ改修が手つかずであったことを知り、水戸市と協議を重ねた結果、「廃棄」ではなく「修理」でサステナブルな未来へ築くことを選択しました。公式訪問では寄贈式の模様をVTRにまとめて放映させていただきました。インパクトある素晴らしい奉仕とご評価いただき、今後も問題意識をもった奉仕活動を行っていくことを一同で再確認しました。

さらに、魅力ある例会にしていくために、親睦活動の充実を図っていきます。そのため、他クラブとの合同例会を増やすこと、BBQ会場やバスケットボール観戦を交えた例会、そして新会員をメイクアップに連れていくことで人脈を広げる手助けを実践してロータリーを充実していきます。

最後に、大久保博之ガバナーをはじめ、地区役員の皆様におかれましては、大変お忙しい中でのご来訪に心より感謝申し上げます。





ガバナー公式訪問報告

幹事 鈴木 芳郎
(大子RC)

本年度のガバナー公式訪問は8月9日に大雨のなか、第2820地区大久保博之ガバナー、第2分区磯崎孝ガバナー補佐、高原裕地区幹事、額賀正博地区副幹事、川崎道夫ガバナー補佐セクレタリーをお迎えし、公式訪問が行われました。

待ち合わせのあと、今年度の地区の目玉である「見て覧（ミテラン）」に掲載予定の大子町の観光スポットをご案内致しました。

まず初めに、大子おやき学校、次は旧上岡小学校、十二所神社の順に案内しました。

大子おやき学校は、廃校になった明治初期創設の旧檜野地小学校を改装した、観光・体験施設で木造校舎を利用し“おやき”の製造や昭和の学校給食なども食べられる施設です。

次に旧上岡小学校を見学しました。こちらも木造校舎で明治初期に創設され、NHKの連続テレビ小説やその他、いろいろな撮影等に利用されている校舎です。どちらの旧小学校も昔懐かしいノスタルジックな佇まいを肌で感じ、大久保ガバナーをはじめ同行の皆様には、昔にタイムスリップしたのではないか？と思う見学になった事ではと思います。

最後に十二所神社は時間の都合上、案内のみとなりましたが、こちらも“百段階段でひな祭り”でお馴染みの百段階段も見て頂きました。

その後例会場に到着し、事前協議会、例会、クラブ協議会と進めるなかで、大久保ガバナーより、ご指導、アドバイスを頂き、和やかな中にもピリッとした公式訪問を終えることができ

ました。

ロータリアンの皆様へ、春夏秋冬、一年を通して楽しめる大子町へ是非お越しください。





ガバナー公式訪問報告

幹事 **鴻 巢 智 和**
(取手RC)

会長・幹事にとって一年で一番大事な行事のガバナー公式訪問が行われました。クラブ全体にとってもですが、訪問していただくにあたって予め準備をしたり打ち合わせをしたりと学ぶことがとても多く、勉強させていただきました。

大久保ガバナーの貴重なお話を、より近い距離でじっくり伺うことができ、大変有意義な時間を設定して頂きありがたく思います。

取手RCは現在少人数のクラブとなっております

りますので、クラブの発表も小規模なものが多くなりますが、ガバナーよりご指摘いただき、より引き締まった意見にまとまったように思います。

クラブの今後を考え、小さくまとまるのではなく奉仕の精神をモットーに、より拡大的に、そしてロータリーに入会する事がもっと魅力的に見えるよう努力していくのが大事なのだと教わりました。





ガバナー公式訪問報告

幹事 **小橋川 祥**
(勝田R C)

9月1日(金)、晴天のもとホテルクリスタルパレスに大久保博之ガバナーをはじめ地区幹事、ガバナー補佐、セクレタリーの皆様にご来訪いただきました。

クラブ事前協議では、当クラブの活動について大久保ガバナーより質問があり、村邊会長がクラブの活動についてご説明されました。非常に和やかな雰囲気、これまで公式訪問された各クラブの状況や、水戸ロータリークラブでの出席率向上に向けた取り組みをお話いただきました。具体的には卓話の時間をゆっくり取り、必ずスライドを用いて卓話してもらったり、夜の例会を定期的に行って懇親の機会を増やしたり、理事会を傍聴してもらって少しでもロータリーの活動に触れてもらう機会を作るといった

活動をされているとお話をいただきました。

12時30分より例会が開始され、ガバナーからの卓話もいただき、今年度のスローガンである「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」をしっかりと再確認させていただきました。その後写真撮影を経て、クラブ協議会が村邊会長司会のもと開催されました。現況報告書をもとに、各委員長の発言に対し、適切にご指導やご意見をいただくことができました。

今後の勝田R Cの発展に繋がるご助言をいただきとても充実した公式訪問でした。大久保ガバナーを始め、ご来訪いただきました皆様には心から感謝すると共に、会員一同さらなる活動に励んでまいります。誠にありがとうございました。





ガバナー公式訪問報告

幹事 **倉持 英子**
(つくばサンライズRC)

9月2日大久保ガバナー、高原地区幹事、高貫副幹事、川崎副幹事、鶴田ガバナー補佐、白田ガバナー補佐セクレタリーをお迎えして、「見て覧（ミテラン）」に載せるつくば文化郷においてガバナー公式訪問を開催させて頂きました。

はじめに、「見て覧（ミテラン）」に載せる「つくば鍛刀場」を見学させて頂きました。つくば鍛刀場において、刀について、刀の制作の仕方などのお話をお聞き頂き、実際に刀に触れて頂きました。大久保ガバナーはとても熱心に聞かれました。

その後、もう一つ「見て覧（ミテラン）」に載せる「つくば文化郷」とその文化郷の近くにあり、文化郷の中での紹介にもある「フォンテーヌの森」を見学させて頂きました。

事前協議会においては、つくばサンライズは、他のロータリークラブとは異なる特色について、これまでのクラブの歴史について、今後の方針、会員増強の仕方等について報告し、大久保ガバ

ナーよりいろいろご指導いただくと共に「すばらしい。他のロータリークラブにも、参考になるので、お伝えしたい。」とのお言葉を頂きました。

例会においては、大久保ガバナーよりRI会長のテーマ、大久保ガバナーの地区での方針などについて分かり易くご説明頂き、そのことについて更に理解を深めることができました。

クラブ協議会においては、各委員長から本年度の事業計画を発表し、大久保ガバナーより卓話のやり方等具体的な御指導を頂きました。そして「メンタルヘルスの取り組みは素晴らしい。モデルケースとしてロータリーに広められる。V T Tは更に次につなげられると良いですね。このノウハウを大事にしてください。」とのお言葉を頂き、クラブの会員にとって大きな励みとなりました。

大変お忙しい中での、大久保ガバナーはじめ地区役員の皆様のご来訪に心より感謝申し上げます。





ガバナー公式訪問報告

幹事 檜 佐 光 信
(真壁RC)

令和5年9月5日(火)大久保博之ガバナー、
軽部守彦ガバナー補佐、高原裕地区幹事、秋葉
良孝地区副幹事、大島裕セクレタリーをお迎え
して真壁伝承館においてガバナー公式訪問が開
催されました。

まず、桜川市内の通史的な展示に加え、真壁
の街並みとそのルーツである真壁城、そしてこ
の地にあった真壁陣屋を中心とした展示が行わ
れている真壁伝承館歴史資料館を見学して頂き、
その後「見て覧(ミテラン)」に掲載予定の重要
伝統的建造物群保存地区の街並みを見学して頂
きました。

真壁伝承館の和室においてガバナー、ガバナー
補佐、クラブ役員との懇談会が行われ、真壁R
Cの現況報告、クラブの事業活動、会員増強な
どの課題についてアドバイスを頂きました。

例会では現米山奨学生のビビアナさんに奨学
金を、また元米山奨学生で筑波大学助教のキム
ダユンさんに博士号取得の記念品が米山記念奨
学会から届いておりましたので記念の腕時計を
ガバナーより授与して頂きました。そしてRI
会長のテーマ、地区方針・スローガン・「見て
覧(ミテラン)」作成の趣旨について説明を頂き
ました。

クラブ協議会では各委員長の事業計画の発表
についてガバナーから丁寧なご指導を頂き今後
の活動の参考になったと思います。

大久保ガバナーをはじめ軽部ガバナー補佐、
役員の皆様お忙しい中ご来訪頂きありがとうござ
いました。





ガバナー公式訪問報告

幹事 **石川 剛**
(常陸太田RC)

2023年9月6日(水)、あいにくの雨の中、大久保博之ガバナーをはじめ磯崎ガバナー補佐、高原地区幹事、増山地区会計長、藤田地区副幹事、川崎ガバナー補佐秘書長をお迎えしガバナー公式訪問を開催いたしました。「見て覧(ミテラン)」候補地の一つである「東金砂神社」に集合し、今年度地区補助金を活用してオーニングを寄贈した常陸太田市子育て支援施設『じょうづるはうす』を視察していただきました。事前協議会ではクラブの現状報告、当クラブの継続事業、会員増強そして米山奨学生などについてアドバイスをいただきながら終始和やかな雰

囲気で話し合いを行いました。例会では、パワーポイントによる大久保博之ガバナーの卓話をいただき、RI会長テーマ・大久保ガバナーが掲げる地区の方針・スローガンについて理解がより一層深まりました。

クラブ協議会では、現況報告書の内容をもとに各委員会の活動計画を報告し、報告の後に委員会毎に質問・アドバイスをいただきました。

大久保博之ガバナーをはじめ磯崎ガバナー補佐、高原地区幹事、増山地区会計長、藤田地区副幹事、川崎ガバナー補佐秘書長、長時間にわたりありがとうございました。



9月会員増強報告

分 区	クラブ名	会員増強報告 (単位/人)								
		本 年 末 会員目標	期 首 会員数	9月実績		本年度累計			2023年 9月末日	うち 女性
				入会	退会	入会	退会	純増		
第1 分区	日立	74	72	0	1	0	1	-1	71	3
	日立南	34	32	0	1	0	1	-1	31	2
	高萩	30	26	0	0	0	0	0	26	0
	北茨城	28	25	0	0	1	0	1	26	3
	日立港	35	33	0	0	1	0	1	34	3
	日立北	30	28	0	1	0	1	-1	27	0
	日立中央	20	18	0	0	0	0	0	18	2
合 計	251	234	0	3	2	3	-1	233	13	
第2 分区	那珂湊	25	23	0	1	0	1	-1	22	1
	常陸太田	31	29	0	0	0	0	0	29	6
	大子	23	21	0	0	0	0	0	21	2
	大洗	18	15	0	0	2	0	2	17	0
	勝田	27	25	0	0	1	0	1	26	4
	東海那珂	34	32	0	0	2	0	2	32	0
	ひたちなか	23	21	0	0	0	0	0	21	2
合 計	181	166	0	1	5	1	4	168	15	
第3 分区	水戸	125	124	1	1	6	1	5	129	5
	笠間	17	15	0	0	1	0	1	16	0
	水戸西	73	71	0	0	1	0	1	72	13
	水戸南	80	77	0	0	0	0	0	77	12
	友部	21	17	0	0	1	0	1	18	0
	水戸東	67	62	0	0	2	0	2	64	4
	水戸さくら	49	36	0	0	7	0	7	43	6
	水戸好文	18	16	0	0	1	0	1	17	16
合 計	450	418	1	1	19	1	18	436	56	
第4 分区	古河	54	51	0	0	0	1	-1	50	3
	境	32	29	0	0	0	0	0	29	0
	岩井	3	6	0	0	2	0	2	8	1
	古河東	53	51	0	0	0	0	0	51	16
	古河中央	50	46	1	1	2	1	1	47	5
合 計	192	183	1	1	4	2	2	185	25	
第5 分区	下館	35	29	0	0	1	0	1	30	3
	結城	26	24	0	0	0	0	0	24	0
	真壁	16	15	0	0	0	0	0	15	0
	下妻	64	61	0	0	1	0	1	62	6
	しもだて紫水	53	51	0	0	0	0	0	51	4
	筑西きぬ	16	11	1	0	1	0	1	12	2
	岩瀬	22	20	0	0	0	0	0	20	0
合 計	232	211	1	0	3	0	3	214	15	
第6 分区	石岡	18	17	0	0	0	0	0	17	0
	土浦	51	48	0	1	0	1	-1	47	6
	土浦南	89	87	0	0	1	0	1	88	7
	つくば学園	103	101	2	0	3	2	1	102	0
	石岡87	26	24	1	0	1	0	1	25	0
	土浦中央	13	11	0	0	0	0	0	11	0
	つくばシティ	58	53	0	0	1	1	0	53	8
	阿見	16	13	0	0	2	0	2	15	1
つくばサンライズ	14	13	0	0	0	0	0	13	6	
合 計	388	367	3	1	8	4	4	371	28	
第7 分区	竜ヶ崎	35	34	0	0	0	0	0	34	5
	水海道	55	53	0	0	0	0	0	53	2
	取手	18	16	0	0	0	0	0	16	0
	牛久	39	38	0	0	0	0	0	38	3
	守谷	5	3	0	0	0	0	0	3	0
	龍ヶ崎中央	10	7	0	0	2	0	2	9	2
合 計	162	151	0	0	2	0	2	153	12	
第8 分区	鉾田	30	29	0	0	0	0	0	29	0
	鹿島臨海	45	44	0	1	0	2	-2	42	5
	玉造	10	8	0	0	0	0	0	8	1
	波崎	15	13	0	0	0	0	0	13	1
	鹿島中央	22	20	0	0	1	0	1	21	2
合 計	122	114	0	1	1	2	-1	113	9	
茨城Eクラブ	13	11	0	0	0	1	-1	10	4	
地区合計	1991	1855	6	8	44	14	30	1883	177	

※期首とは7月1日の午前0時時点、末日とは当日末日午後12時時点とする。

新会員紹介



岩井RC
倉持 英雄

■入会日
2023年7月2日

■職業分類
税理士



岩井RC
堀越 哲

■入会日
2023年7月2日

■職業分類
建設業



笠間RC
本橋 大蔵

■入会日
2023年8月3日

■職業分類
飲食業



筑西きぬRC
鈴木 宇子

■入会日
2023年9月4日

■職業分類
薬局



古河中央RC
奈良 和久

■入会日
2023年9月20日

■職業分類
製造業



日立南RC
小沼 淳志

■入会日
2023年10月3日

■職業分類
建設・不動産業



日立南RC
佐藤 清貴

■入会日
2023年10月3日

■職業分類
証券業



日立南RC
権 起香

■入会日
2023年10月10日

■職業分類
自動車部品製造業

訃報 謹んでお悔やみ申し上げます。



結城RC
稲葉安四郎

(享年 86才)
1937年10月26日生
2023年10月14日ご逝去
1983年4月1日入会
工芸染物

■ロータリー歴
会長(2001～2002)・幹事(1997～1998)
社会奉仕・国際奉仕・職業奉仕等各委員長

■寄付歴
ベネファクター
ポール・ハリス・フェロー(4回)
米山功労者(4回)

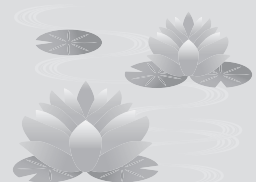


古河中央RC
染谷 泰雄

(享年 84才)
1937年11月22日生
2023年9月10日ご逝去
1988年1月14日入会
(チャーターメンバー)
僧侶

■ロータリー歴
会長(2000～2001)
2012-2013年度 ガバナー補佐

■寄付歴
PHF+1



2024年 シンガポール国際大会早期登録のご案内

国際大会 開催期間 (2024年5月25日～29日)

My ROTARYにてオンライン登録が可能です。登録料が\$500(11月1日現在)となり開催期日が近づくにつれて、段階的に上がっていきます。茨城ナイトは国際大会期間中の2024年5月26日を予定しております。

国際大会の会場とホテル

大会の会場はマリーナ ベイ サンズ エキスポ & コンベンション センターとナショナルスタジアムの2か所となります。個人でいらっしゃる方は、ホテルをMy ROTARYで予約されるのも一案です。会場に近いホテルから埋まっていますので、早めの予約をお奨めいたします。



国際大会会場のマリーナ ベイ サンズ

2026-2027年度 地区ガバナー候補者推薦のお願い

(ガバナーノミニニー・デジグネート)

このことにつきましては、2012年5月26日の指名委員会・ガバナー補佐合同会議及び2012年8月18日の諮問委員会において、今後の第2820地区ガバナーノミニニーの選出が、ガバナー及び輩出クラブの負担軽減を含め、スムーズに行われるよう、現行制度を以下のように改革する案が協議され採択されております。

協議事項1. 第2820地区の8つの分区を以下の5つのブロックにする。

第1ブロック	第1分区、第2分区
第2ブロック	第3分区
第3ブロック	第4分区、第5分区
第4ブロック	第6分区
第5ブロック	第7分区、第8分区

協議事項3. ガバナーノミニニーの選出ブロック順は以下となる。

2026-2027	第3ブロック
2027-2028	第4ブロック
2028-2029	第2ブロック
2029-2030	第1ブロック
2030-2031	第5ブロック

2026-2027年度ガバナー(ガバナーノミニニー・デジグネート)については、協議事項3により、第3ブロックより選出されることとなりますので、第3ブロック内クラブより推薦いただき、ガバナー事務所にご連絡ください。

ガバナー指名委員長 高橋 賢吾

12月・1月のスケジュール

- 12月 6日（水）米山奨学生面接日
（水戸）
- 12月8日・9日（金・土）
米山奨学生面接日（つくば）
- 12月 9日（土）第2回諮問委員会
（山口楼）
- 12月15日（金）第3回ガバナー補佐・
総括合同会議
- 12月16日・17日（土・日）
ライラセミナー（水戸市少年自然の家）
- 2024年
1月20日（土）
ロータリー財団委員会セミナー・
顕彰パーティー（水戸三の丸ホテル）
- 1月27日（土）第3回 地区諮問委員会
（ホテルテラス ザ ガーデン水戸）
- 1月28日（日）第1分区IM

ガバナー事務所からのお知らせ

ガバナー事務所は、2023年12月27日（水）～2024年1月4日（木）まで事務所をお休みいたします。年始は2024年1月5日（金）10時より開始いたします。冬期休暇期間のご連絡はメールとFAXのみ対応いたしますので、どうぞよろしくお願いたします。

（FAX：029-246-6533、
E-mail：23-24@rid2820.jp）

Japan Rotary (RI Zone 1a,2,3) Portal Siteのご案内

地区やクラブへのスムーズな情報提供、地区やクラブ間の情報共有をよりスムーズに、密にするためにJapan Rotary (RI zone 1a,2,3) のポータルサイトをご利用ください。

ポリオデーポータルサイトもこちらから入ることが可能です。是非ご活用いただきますようお願いいたします。



URL：https://www.japanrotary.club/home

エレクト事務所からのお知らせ


ガバナーエレクト事務所は、2023年12月28日（木）～2024年1月4日（木）まで事務所をお休みいたします。年始は2024年1月5日（金）10時より開始いたします。冬期休暇期間のご連絡はメールとFAXのみ対応いたしますので、どうぞよろしくお願いたします。

（FAX：0294-59-3114、
E-mail：24-25@rid2820.jp）

LINE 公式アカウント

友だち募集中

第2820地区公式LINEを開きました。
LINEアプリより友達登録をしていただくと、
地区からのお知らせや月信がご覧いただけます。



LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください

@103mbrqx

(私論) 国家の品格 人の品格

ガバナー 大久保 博之

数年前のベストセラーに「国家の品格」と言う本があります。そこに、日本の言うことは世界で誰も聞かないのに、もはやかつてのような大国でもなく、GNPも日本の半分ぐらいの国である英国の言うことは、何故今も世界中が耳を傾けるのかということについてこう書かれています。

すなわち英国の生んできた「普遍的価値」というものに対する敬意が世界中にあるからだと……。例えば議会制民主主義という制度はイギリス生れです。文学のシェイクスピアやディケンズ、力学のニュートン、電磁気学のマクスウェル、進化論のダーウィン、経済学のケインズ、(確かマルクスが資本論を書いたのも大英博物館の図書室であったと聞きます。) 蒸気機関車も産業革命も、コンピュータもジェットエンジンもレーダーも英国発。ビートルズも100年後には教科書にモーツァルトと並ぶ作曲家として載るでしょう。これも普遍的かもしれません。

このような英国の生んだ普遍的価値に対し、世界の人々は尊敬の念を持っているということです。大いなる普遍的価値を生んだ国に対する尊敬は一世紀くらい経済が斜陽でもぜんぜん揺るがないということです。逆に言うと日本が今後、五百年間経済的大繁栄を続けようと世界の誰一人尊敬してくれないかも？羨望や嫉妬はしても尊敬はされないかもしれません。

同じことは人にも言えるかも知れません。人が人を尊敬するのはお金があるなしでなく、地位が高い低いでもなく、その人が自分を越えた価値に献身しているかどうか？つまり「志」をもって行動しているかどうかだと思います。

これはリーダーシップの重要な要素です。

このような教育は今まで戦後の日本ではあまりされてきませんでした。私は職業分類(私立学校)の会員として「志の教育」を中心にして幼少期から教育してみようと思います。子どもたちが水戸から将来世界をリードしていってくれることを願う毎日です。



紙媒体の活字はなくなってほしくない。いや、人類が滅びるまでけっしてなくなりはない。「月信」をみて、つくづくそう確信しています。デジタルが席卷し、紙媒体の書籍や新聞、雑誌まで衰退の一途たどっています。このままでは、やがて紙媒体は消えてしまうと考える人はいるかもしれません。でも、想像してみてください。人類は紀元前3000年前から文字を使い始め、紀元前2000年も前から紙の基礎となる「パピルス」を書写材として利用しています。デジタルは確かに便利ですが、月信をもう一度みてください。滑らかな表紙の手触り、開くとインクの匂い、一目でわかる見出しや写真。不易流行。人類にとって大切なものは残り続けます。(北島)